



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月31日

上場会社名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
 コード番号 8306
 (URL <http://www.mufg.jp/>)

上場取引所
 本社所在都道府県

東・大・名
 東京都

代表者 取締役社長 畔柳 信雄
 問合せ先責任者 財務企画部 主計室長 石井 健明
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 無

TEL (03) 5252 - 8650
 特定取引勘定の設置の有無 有

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (内容)

貸倒引当金の計上基準及びその他の会計処理基準において、影響額が僅少ななものについて一部簡便な方法を採用しております。
 うち、貸倒引当金の計上基準は以下の通りです。
 ・債務者格付が直前決算時と不変の債務者宛債権の一部に、直前決算時に当該債務者に適用した貸倒引当率等の計数を使用。
 ・債務者格付が直前決算時と相違する債務者宛債権の一部に、四半期末日の債務者格付に基づき、直前決算時に当該格付の債務者に適用した貸倒引当率等の計数を使用。
 ・重要性が低い一部の資産については、直前決算時の実績値等を用いた見積りを使用。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有

四半期連結損益計算書(注)をご参照下さい。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 有

連結 (新規) 25 社 (除外) 20 社 持分法 (新規) 5 社 (除外) 3 社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

17年10月1日の合併に伴い、18年3月期第3四半期及び18年3月期は、旧三菱東京フィナンシャル・グループの17年4月から17年9月までの実績(連結)に、三菱UFJフィナンシャル・グループの17年10月から17年12月までの実績(連結)、17年10月から18年3月までの実績(連結)をそれぞれ加算しております。

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	4,308,950	(56.3)	963,979	(30.2)	690,550	(12.2)
18年3月期第3四半期	2,756,504	(46.7)	740,382	(57.5)	615,371	(116.5)
(参考)18年3月期	4,293,950		1,078,061		770,719	

(参考)旧UFJホールディングス

17年9月期	1,113,760	355,247	411,057
--------	-----------	---------	---------

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	68,333	70	67,286	85
18年3月期第3四半期	79,982	85	77,457	43
(参考)18年3月期	93,263	16	89,842	27

(参考)旧UFJホールディングス

17年9月期	79,851	45	57,075	34
--------	--------	----	--------	----

(注)1. 経常収益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

2. 18年3月期第3四半期の増減の基礎となる前年同四半期の計数は、旧三菱東京フィナンシャル・グループの連結計数であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

海外経済は、米国経済こそ減速傾向を辿りましたが、一方で中国経済が設備投資や輸出を中心に高成長を続けるなど、全体としては総じて底堅く推移しました。一方、わが国経済は、年末にかけて勢いこそ幾分鈍りましたが、輸出、設備投資が増加し、企業業績も堅調で、これが徐々に雇用・所得環境の改善に繋がるなど、総じてバランスの良い景気拡大を続けました。この間、消費者物価は小幅ながら上昇に転じました。
 金融情勢に目を転じますと、政策金利は、米国において5.25%まで、ユーロ圏では3.5%まで引き上げられました。一方、わが国では7月に日銀がゼロ金利政策を解除し、短期市場金利には幾分上昇圧力が掛かりました。また、長期市場金利は、日銀の早期利上げへの警戒から5月にかけて上昇しましたが、ゼロ金利解除後は振れを伴いながらも総じて低下傾向を辿りました。一方、円の為替相場は、日米の金利差などを背景に円安傾向で推移しました。
 このような経済環境のもと、当社(連結)の経常収益は前年同期比56.3%増の4兆3,089億円、経常利益は前年同期比30.2%増の9,639億円、第3四半期純利益は前年同期比12.2%増の6,905億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産 (注)1.	自己資本比率 (注)1.2.	1株当たり純資産 (注)1.
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	191,355,513	10,090,525	4.2	760,975 97
18年3月期第3四半期	194,595,894	6,994,462	3.5	598,847 23
(参考)18年3月期	187,046,793	7,727,837	4.1	692,792 39

- (注)1. 「純資産」、「自己資本比率」及び「1株当たり純資産」は、当期より、会社法施行等に伴い財務指標の名称・算定方法の見直しを行っております(18年3月期第3四半期及び18年3月期の計数は従来の基準により記載しております)。なお、「純資産」は「株主資本」から変更された項目であり、当四半期における従来の株主資本額は、8,185,269百万円であります。また、「自己資本比率」及び「1株当たり純資産」は、それぞれ「株主資本比率」及び「1株当たり株主資本」から変更された財務指標であります。この変更による影響は軽微であります(指標算式については次ページご参照)。
2. 「連結自己資本比率(国際統一基準)」については、「平成19年3月期第3四半期財務・業績説明資料」8ページをご参照ください。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の財政状態は、総資産が前年度末比4兆3,087億円増の191兆3,555億円(前年同期比 3兆2,403億円減)、純資産は前年度末の少数株主持分と資本の部合計値と比べ2,641億円増の10兆9,055億円(前年同期少数株主持分と資本の部合計値比 1兆4,773億円増)となりました。純資産の部の主な変動要因としては、利益剰余金が5,850億円増加したこと、繰延ヘッジ損益 750億円を計上したこと、公的資金返済等に伴い自己株式が2,271億円増加したこと、及び、株式の評価差額の増加を主因にその他有価証券評価差額金が872億円増加したことが挙げられます。

主要な勘定残高といたしましては、資産の部では、有価証券は前年度末比4,729億円増の48兆9,819億円(前年同期比 2兆2,747億円減)、貸出金は1兆2,588億円増の87兆219億円(前年同期比 2,007億円増)となりました。負債の部では、預金が 2兆7,292億円減の116兆2,588億円(前年同期比 1兆512億円減)となりました。

(参考)

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	5,800,000	1,500,000	870,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 85,315円56銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の予想につきましては、平成18年11月20日公表の予想数値から変更ありません。

本書及びその説明資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。

「平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況」指標算式

1 株当たり四半期(当期)純利益

$$\frac{(\text{四半期})\text{連結損益計算書上の四半期(当期)純利益} - \text{普通株主に帰属しない金額}^{*1}}{\text{四半期(当期)中平均普通株式数}^{*2}}$$

潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益

$$\frac{(\text{四半期})\text{連結損益計算書上の四半期(当期)純利益} - \text{普通株主に帰属しない金額}^{*1} + \text{四半期(当期)純利益調整額}}{\text{四半期(当期)中平均普通株式数}^{*2} + \text{普通株式増加数}}$$

自己資本比率(19年3月期第3四半期)

$$\frac{\text{四半期末純資産の部合計} - \text{四半期末新株予約権} - \text{四半期末少数株主持分}}{\text{四半期末資産の部合計}} \times 100$$

株主資本比率(18年3月期第3四半期及び18年3月期)

$$\frac{\text{四半期(当期)末株主資本}}{\text{四半期(当期)末資産の部合計}} \times 100$$

1株当たり純資産(19年3月期第3四半期)

$$\frac{\text{四半期連結貸借対照表の純資産の部の合計額} - \text{控除する金額}^{*3}}{\text{四半期末発行済普通株式数}^{*2}}$$

1株当たり株主資本(18年3月期第3四半期及び18年3月期)

$$\frac{(\text{四半期})\text{連結貸借対照表の資本の部の合計額} - \text{控除する金額}^{*4}}{\text{四半期(当期)末発行済普通株式数}^{*2}}$$

「平成19年3月期の連結業績予想」指標算式

1株当たり予想当期純利益

$$\frac{\text{予想当期純利益} - \text{予想優先株式配当金総額}}{\text{四半期末発行済普通株式数}^{*2}}$$

*1 優先株式配当金相当額等

*2 自己株式及び子会社等の所有する親会社株式を除く

*3 優先株式払込金額、優先株式配当金相当額、新株予約権及び少数株主持分等

*4 優先株式発行金額又は優先株式払込金額及び(利益処分による)優先株式配当金相当額等

1. 四半期連結貸借対照表

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末) (A)	前期 (平成18年3月期末) (B)	比較 (A)-(B)	(参考) 前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)
(資産の部)				
現金預け金	9,489,039	12,347,561	2,858,522	16,729,714
コーローン及び買入手形	1,463,814	2,467,717	1,003,903	1,656,580
買現先勤定金	4,874,350	1,077,911	3,796,438	1,123,765
債券借取引支払保証	4,566,512	5,425,527	859,015	3,934,683
買入金銭債権	3,971,315	2,675,007	1,296,308	3,019,795
特定取引資産	10,688,568	10,070,779	617,788	9,687,575
金銭の信託	421,329	410,545	10,783	441,133
有価証券	48,981,969	48,508,977	472,992	51,256,704
投資損失引当	21,707	26,663	4,956	1,734
貸出金	87,021,954	85,763,106	1,258,847	86,821,169
外国為替	1,331,265	1,267,808	63,457	1,409,006
その他資産	6,038,917	6,517,435	478,518	6,407,557
有形固定資産	1,694,358	-	1,694,358	-
無形固定資産	695,516	-	695,516	-
不動産	-	1,517,892	1,517,892	1,522,442
繰延税金資産	433,460	705,140	271,679	855,128
連結調整勘定	-	145,250	145,250	148,052
支払承諾見返	10,803,737	9,533,542	1,270,194	11,256,661
貸倒引当金	1,098,887	1,360,745	261,858	1,672,343
資産の部合計	191,355,513	187,046,793	4,308,719	194,595,894
(負債の部)				
預渡性預金	116,258,812	118,988,093	2,729,281	117,310,018
コーマネー及び売渡手形	6,970,849	6,586,425	384,423	8,048,314
売現先勤定金	2,868,357	9,428,846	6,560,488	14,580,776
債券借取引受入担保金	9,309,803	4,885,491	4,424,311	6,252,208
コーマ・シャル・ペーパー	5,625,710	4,339,568	1,286,142	3,545,019
特定取引負債	603,291	309,384	293,906	370,519
借入金	5,325,653	4,361,905	963,747	3,798,384
外国為替	7,099,360	2,974,031	4,125,328	2,885,336
短期社債	829,540	1,312,568	483,028	1,570,582
社債	462,600	490,700	28,100	669,100
新株予約権付社債	6,568,587	6,634,559	65,971	6,662,059
信託勘定借入金	49,673	49,165	508	49,165
その他の負債	1,878,555	2,429,068	550,513	3,350,072
賞与引当金	6,068,952	4,469,097	1,599,854	5,027,827
役員賞与引当金	15,871	50,857	34,985	12,812
退職給付引当金	173	-	173	-
日本国際博覧会出展引当金	69,439	82,239	12,799	93,734
偶発損失引当金	-	-	-	300
特別法上の引当金	122,802	-	122,802	-
繰延税金負債	2,184	2,058	125	2,199
再評価に係る繰延税金負債	121,840	81,963	39,876	285,618
支払承諾	209,191	210,875	1,684	212,045
負債の部合計	10,803,737	9,533,542	1,270,194	11,256,661
負債の部合計	181,264,987	177,220,444	4,044,542	185,982,756
(純資産の部)				
資本剰余金	1,383,052	-	1,383,052	-
利益剰余金	1,916,306	-	1,916,306	-
自己株式	3,911,026	-	3,911,026	-
株主資本合計	1,001,081	-	1,001,081	-
その他有価証券評価差額金	6,209,304	-	6,209,304	-
繰延ヘッジ損益	1,856,745	-	1,856,745	-
土地再評価差額金	75,078	-	75,078	-
為替換算調整勘定	148,492	-	148,492	-
評価・換算差額等合計	29,273	-	29,273	-
新株予約権	1,900,887	-	1,900,887	-
少数株主持分	0	-	0	-
純資産の部合計	1,980,334	-	1,980,334	-
純資産の部合計	10,090,525	-	10,090,525	-
負債及び純資産の部合計	191,355,513	-	191,355,513	-
(少数株主持分)				
少数株主持分	-	2,098,512	2,098,512	1,618,675
(資本の部)				
資本剰余金	-	1,383,052	1,383,052	1,383,052
利益剰余金	-	1,915,855	1,915,855	1,658,088
土地再評価差額金	-	3,325,980	3,325,980	2,809,037
株式等評価差額金	-	149,534	149,534	148,099
為替換算調整勘定	-	1,769,525	1,769,525	1,634,903
自己株式	-	42,168	42,168	77,962
資本の部合計	-	773,941	773,941	560,756
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-	7,727,837	7,727,837	6,994,462
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-	187,046,793	187,046,793	194,595,894

2. 四半期連結損益計算書

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

前年同四半期及び前期は、旧三菱東京フィナンシャル・グループの17年4月から17年9月までの実績(連結)に、三菱UFJフィナンシャル・グループの17年10月から17年12月までの実績(連結)、17年10月から18年3月までの実績(連結)をそれぞれ加算しております。

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日) (A)	前年同四半期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日) (B)	(参考) 旧UFJホールディングス 前年中間期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	比較(A)-(B)	(参考) 前期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) (要約)
経 常 収 益	4,308,950	2,756,504	1,113,760	1,552,445	4,293,950
資 金 運 用 収 益	2,521,091	1,543,411	527,806	977,680	2,365,923
(うち貸出金利息)	(1,564,321)	(927,777)	(347,365)	(636,544)	(1,411,124)
(うち有価証券利息配当金)	(522,897)	(341,633)	(97,462)	(181,264)	(598,194)
信 託 報 酬	113,120	60,541	23,721	52,578	122,898
役 務 取 引 等 収 益	962,578	631,264	255,301	331,314	1,000,853
特 定 取 引 収 益	207,911	70,448	23,045	137,462	148,524
そ の 他 業 務 収 益	255,526	339,160	212,931	83,633	391,226
そ の 他 経 常 収 益	248,720	111,677	70,953	137,042	264,524
経 常 費 用	3,344,970	2,016,122	758,513	1,328,847	3,215,888
資 金 調 達 費 用	1,143,460	589,946	154,085	553,513	884,422
(うち預金利息)	(524,102)	(280,220)	(50,798)	(243,881)	(414,861)
役 務 取 引 等 費 用	122,648	69,119	39,389	53,529	117,058
特 定 取 引 費 用	-	-	8,881	-	1,113
そ の 他 業 務 費 用	109,139	119,322	89,513	10,183	170,456
営 業 経 費	1,558,900	1,083,174	379,140	475,725	1,663,458
そ の 他 経 常 費 用	410,821	154,559	87,503	256,262	379,380
経 常 利 益	963,979	740,382	355,247	223,597	1,078,061
特 別 利 益	244,636	207,380	301,474	37,256	451,571
特 別 損 失	58,377	9,115	90,257	49,262	28,535
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,150,238	938,646	566,463	211,592	1,501,097
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	87,632	64,198	32,011	23,434	108,982
法 人 税 等 調 整 額	301,876	204,760	120,387	97,116	525,011
少 数 株 主 利 益	70,178	54,316	3,006	15,862	96,383
四 半 期 (当 期) 純 利 益	690,550	615,371	411,057	75,179	770,719

(注) 従来、国内信託銀行連結子会社の信託報酬については、原則として信託計算期間終了時に収益として計上しておりましたが、情報開示制度の拡充を踏まえ、より適正な期間損益計算を行うため、当連結会計期間より、信託報酬の算定において信託計算期間・受託資産残高を基礎としないものを除き、信託計算期間の経過に応じて計上する方法に変更しております。この変更は当連結会計期間に管理システムが整備され、信託計算期間・受託資産残高を基礎として信託報酬を計算することが可能となったことに伴うものであります。

なお、この変更に伴い、従来の方法による場合と比較して、経常収益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28,537百万円増加しております。

3. 四半期連結株主資本等変動計算書
(自平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					新株予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
直前連結会計年度末残高	1,383,052	1,915,855	3,325,980	773,941	5,850,946	1,769,525	-	149,534	42,168	1,876,891	0	2,098,512	9,826,349
当四半期連結会計 期間中の変動額													
剰余金の配当			103,150		103,150								103,150
役員賞与			163		163								163
四半期純利益			690,550		690,550								690,550
自己株式の取得				291,513	291,513								291,513
自己株式の処分		456		64,372	64,829								64,829
土地再評価差額金 取崩			1,100		1,100								1,100
連結子会社の減少			16		16								16
持分法適用関連 会社の減少			2,003		2,003								2,003
会計基準の変更による 連結子会社の増加			1,270		1,270								1,270
その他		4			4								4
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間 中の変動額(純額)						87,220	75,078	1,041	12,895	23,995	-	118,177	94,181
当四半期連結会計 期間中の変動額合計	-	451	585,046	227,140	358,358	87,220	75,078	1,041	12,895	23,995	-	118,177	264,176
当四半期連結 会計期間末残高	1,383,052	1,916,306	3,911,026	1,001,081	6,209,304	1,856,745	75,078	148,492	29,273	1,900,887	0	1,980,334	10,090,525

(注)直前連結会計年度末残高における純資産合計については、新株予約権及び少数株主持分を加算しております。

4. 四半期信託財産残高表

(職務分担型共同受託財産合算分)

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
(三菱UFJ信託銀行株式会社)

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末) (A)	前期 (平成18年3月期末) (B)	比較(A)-(B)	(参考) 前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)
貸 出 金	332,324	350,037	17,713	374,548
有 価 証 券	50,777,948	49,971,674	806,274	40,378,270
信 託 受 益 権	25,176,051	24,690,554	485,496	25,405,373
受 託 有 価 証 券	1,426,191	1,129,454	296,737	1,089,652
金 銭 債 権	12,223,635	11,398,024	825,610	10,148,905
動 産 不 動 産	7,269,109	6,363,329	905,780	5,932,186
地 上 権	18,405	17,805	600	17,805
不 動 産 の 賃 借 権	63,114	-	63,114	-
土 地 の 賃 借 権	-	52,094	52,094	46,025
そ の 他 債 権	2,508,317	2,333,082	175,234	1,520,981
コ ー ル ロ ー ン	1,276,620	1,396,008	119,388	1,496,149
銀 行 勘 定 貸	1,878,376	2,428,889	550,512	3,349,983
現 金 預 け 金	1,203,330	1,054,442	148,888	904,634
資 産 合 計	104,153,423	101,185,395	2,968,028	90,664,515
金 銭 信 託	29,017,861	29,699,587	681,725	27,464,725
年 金 信 託	12,780,390	12,150,927	629,462	12,210,404
財 産 形 成 給 付 信 託	13,784	14,583	798	15,591
貸 付 信 託	432,844	653,459	220,615	719,701
投 資 信 託	23,537,078	22,892,430	644,647	23,513,063
金銭信託以外の金銭の信託	2,971,516	2,946,860	24,655	3,304,251
有 価 証 券 の 信 託	1,913,846	1,560,549	353,297	1,384,220
金 銭 債 権 の 信 託	12,740,560	11,783,807	956,752	10,545,586
動 産 の 信 託	42,666	27,027	15,638	33,350
土地及びその定着物の信託	115,787	118,056	2,268	119,357
土地の賃借権の信託	-	265	265	263
包 括 信 託	20,587,086	19,337,839	1,249,247	11,353,999
そ の 他 の 信 託	0	0	0	0
負 債 合 計	104,153,423	101,185,395	2,968,028	90,664,515

5. 事業の種類別セグメント情報

当四半期連結会計期間(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業	信託銀行業	証券業	クレジット カード業	その他	計	消去又は全社	連結
経常利益	710,068	192,713	39,918	80,068	436,624	1,459,392	(495,413)	963,979

- (注)1. 一般企業の営業利益に代えて、経常利益を記載しております。
 2. 当連結会計期間より、重要性に鑑み、従来その他に含まれていたクレジットカード業を区分して開示しております。
 3. その他には、リース業等が属しております。
 4. その他には、当社が国内銀行連結子会社及び国内信託銀行連結子会社から受け取った配当金488,899百万円が含まれております。
 5. 従来、国内信託銀行連結子会社の信託報酬については、原則として信託計算期間終了時に収益として計上していましたが、情報開示制度の拡充を踏まえ、より適正な期間損益計算を行うため、当連結会計期間より、信託報酬の算定において信託計算期間・受託資産残高を基礎としないものを除き、信託計算期間の経過に応じて計上する方法に変更しております。この変更は当連結会計期間に管理システムが整備され、信託計算期間・受託資産残高を基礎として信託報酬を計算することが可能となったことに伴うものであります。
 なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、信託銀行業の経常利益は28,537百万円増加しております。

前年同四半期連結会計期間(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)

旧三菱東京フィナンシャル・グループの17年4月から17年9月までの実績(連結)に、三菱UFJフィナンシャル・グループの17年10月から17年12月までの実績(連結)を加算しております。

(単位:百万円)

	銀行業	信託銀行業	証券業	その他	計	消去又は全社	連結
経常利益	607,547	126,430	55,313	1,052,062	1,841,354	(1,100,972)	740,382

- (注)1. 一般企業の営業利益に代えて、経常利益を記載しております。
 2. その他には、クレジットカード業、リース業等が属しております。
 3. その他には、当社が国内銀行連結子会社及び国内信託銀行連結子会社から受け取った配当金1,010,251百万円が含まれております。

(参考)

前連結会計年度(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

旧三菱東京フィナンシャル・グループの17年4月から17年9月までの実績(連結)に、三菱UFJフィナンシャル・グループの17年10月から18年3月までの実績(連結)を加算しております。

(単位:百万円)

	銀行業	信託銀行業	証券業	その他	計	消去又は全社	連結
経常利益	825,646	204,781	80,598	1,072,159	2,183,185	(1,105,124)	1,078,061

- (注)1. 一般企業の営業利益に代えて、経常利益を記載しております。
 2. その他には、クレジットカード業、リース業等が属しております。
 3. その他には、当社が国内銀行連結子会社及び国内信託銀行連結子会社から受け取った配当金1,010,251百万円が含まれております。

平成19年3月期第3四半期
財務・業績説明資料



株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

【目 次】

下記では、三菱UFJフィナンシャル・グループは「持株」、三菱東京UFJ銀行は「銀行」、三菱UFJ信託銀行は「信託」と省略して表示しております。

また、【2行合算】は、三菱東京UFJ銀行及び三菱UFJ信託銀行の単体ベースの単純合算であります。

平成19年3月期第3四半期財務・業績の概要

. 連結P/Lの状況	……	1
. 連結B/Sの状況	……	2

四半期財務・業績の概況

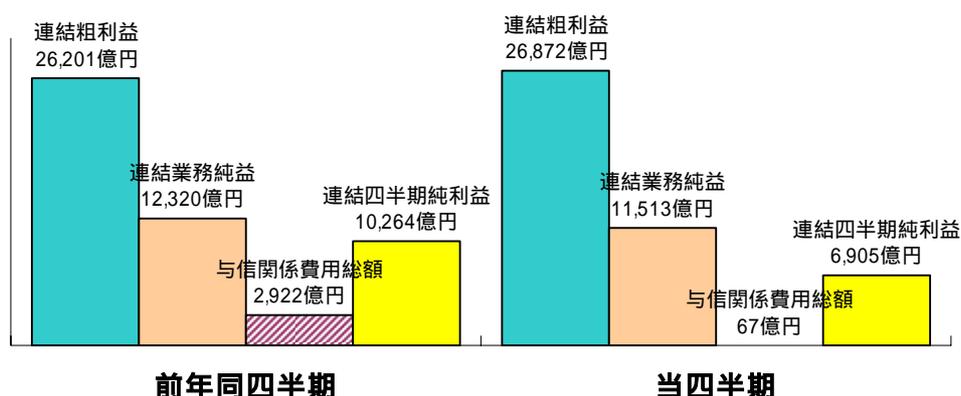
1. 損益の状況	【持株 連結】	……	3
	【2行合算】	……	4
	【銀行 単体】	……	5
	【信託 単体】	……	6
2. 金融再生法開示債権	【2行合算 + 信託勘定】 【銀行 単体】	……	7
	【信託 単体】 【信託勘定】		
3. 自己資本比率(国際統一基準)	【持株 連結】	……	8
4. ROE	【持株 連結】	……	8
5. 有価証券の評価損益	【持株 連結】	……	9
	【銀行 単体】	……	10
	【信託 単体】	……	11
6. デリバティブ取引に係る繰延損益の状況	【持株 連結】	……	12
7. 預金・貸出金の残高	【2行合算】	……	13
8. 個人・法人別預金残高(国内店舗)	【2行合算】	……	13
9. 消費者ローン残高	【2行合算】 【信託勘定】	……	13
10. 中小企業等貸出	【2行合算】 【信託勘定】	……	13
11. 繰延税金資産の状況	【2行合算】	……	14

平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概要

. 連結 P / L の状況

投信関連収益の増加等により、連結粗利益が前年同四半期比増加しましたが、統合関連費用の発生等により、経費の増加が粗利益の増加を上回ったことから、当四半期の連結業務純益は、前年同四半期比 807 億円減少し、1 兆 1,513 億円となりました。

また、特別利益に計上される貸倒引当金戻入益が前年同四半期比 2,721 億円減少したこと等もあり、当四半期の連結四半期純利益は、前年同四半期比 3,358 億円減少し、6,905 億円となりました。



連結 P / L の状況

(単位: 億円)

	前年同四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕	当四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	比較
1 連結業務粗利益 (信託勘定償却前)	26,201	26,872	671
2 資金利益	13,290	13,798	508
3 信託報酬 (信託勘定償却前)	851	1,131	280
4 役務取引等利益	7,780	8,399	618
5 特定取引利益 + その他業務利益	4,278	3,542	735
6 うち国債等債券関係損益	409	62	347
7 営業費()	13,880	15,359	1,478
8 うちのれん償却	-	64	64
9 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	12,320	11,513	807
10 同のれん償却前	12,320	11,577	742
11 信託勘定償却	9	0	8
12 与信関係費用(臨時損益)	1,189	1,332	142
13 株式等関係損益	541	179	362
14 その他の臨時損益	707	719	12
15 経常利益	10,956	9,639	1,316
16 特別損益	4,094	1,862	2,232
17 うち貸倒引当金戻入	4,122	1,400	2,721
18 法人税等 + 法人税等調整額()	4,213	3,895	318
19 少数株主利益()	573	701	128
20 四半期純利益	10,264	6,905	3,358
21 与信関係費用総額	2,922	67	2,855

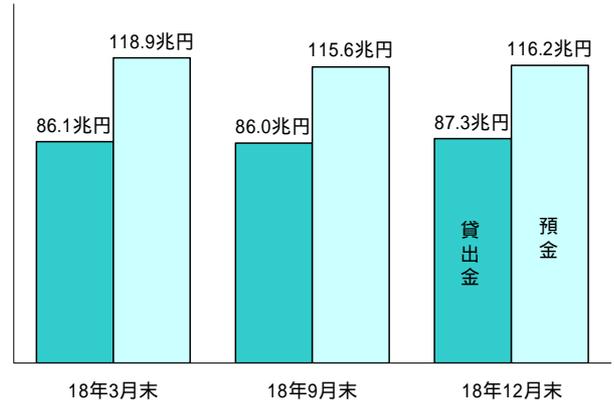
前年同四半期は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ(4~9月)、旧 UFJ ホールディングス(4~9月)、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(10~12月)の連結計数を合算して記載しております。

連結B / Sの状況

◇ 貸出金・預金

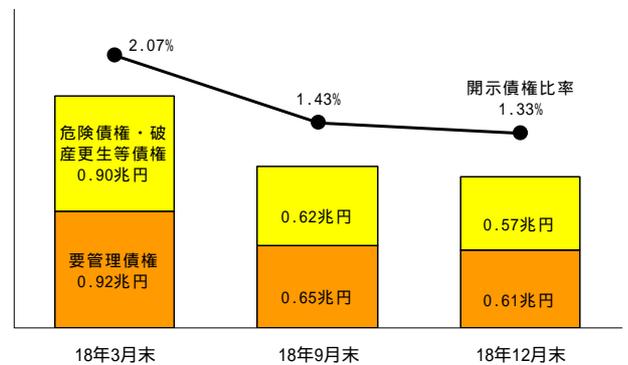
貸出金(含む信託勘定)は、年末の資金需要取り込み等により、18年9月末比1.3兆円増加し、87.3兆円となりました。

預金は、個人預金の増加等により、18年9月末比0.6兆円増加し、116.2兆円となりました。



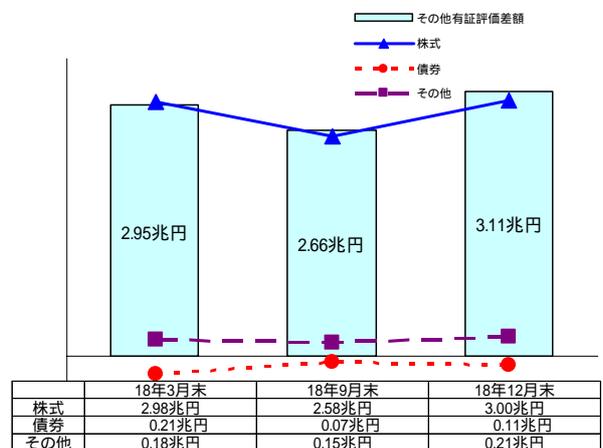
◇ 不良債権

開示債権比率は、不良債権処理の進捗、業況回復による債務者区分上位遷移等により不良債権額が減少したことを主因に、18年9月末比0.10ポイント低下し、1.33%となりました。



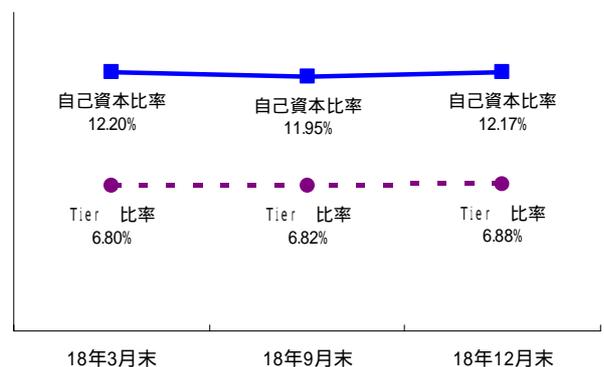
◇ 有価証券評価損益

株式相場が堅調に推移したこと等により、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は18年9月末比0.44兆円増加し3.11兆円となりました。



◇ 連結自己資本比率

18年12月末(概算値)についても、連結自己資本比率は12.17%、Tier 比率6.88%と十分な水準を確保しました。



四半期財務・業績の概況

1. 損益の状況

【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

前年同四半期は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ(4～9月)、旧UFJホールディングス(4～9月)、三菱UFJフィナンシャル・グループ(10～12月)の連結計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	当四半期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)	前年同四半期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日)	比較
1 連結業務粗利益	26,871	26,191	679
2 (信託勘定償却前連結業務粗利益)	(26,872)	(26,201)	(671)
3 資金利益	13,798	13,290	508
4 信託報酬	1,131	842	288
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	0	9	8
6 役務取引等利益	8,399	7,780	618
7 特定取引利益	2,079	846	1,232
8 その他業務利益	1,463	3,432	1,968
9 うち 国債等債券関係損益	62	409	347
10 営業費	15,359	13,880	1,478
11 うち のれん償却	64	-	64
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定・のれん償却前)	11,577	12,320	742
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	11,513	12,320	807
14 一般貸倒引当金繰入額(は繰入)	-	-	-
15 連結業務純益(13+5+14)	11,512	12,311	799
16 臨時損益(は費用)	1,872	1,355	517
17 与信関係費用	1,332	1,189	142
18 貸出金償却	1,211	1,153	57
19 個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
20 その他の与信関係費用	120	36	84
21 株式等関係損益	179	541	362
22 株式等売却益	540	877	336
23 株式等売却損	16	218	202
24 株式等償却	345	116	228
25 その他の臨時損益	719	707	12
26 経常利益	9,639	10,956	1,316
27 特別損益	1,862	4,094	2,232
28 うち 貸倒引当金戻入	1,400	4,122	2,721
29 税金等調整前四半期純利益	11,502	15,051	3,548
30 法人税、住民税及び事業税	876	962	85
31 法人税等調整額	3,018	3,251	232
32 少数株主利益	701	573	128
33 四半期純利益	6,905	10,264	3,358
(注) 連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + その他連結会社粗利益 - その他連結会社営業経費 - その他連結会社一般貸倒引当金繰入額 - のれん(借方)の償却費用 - 内部取引			
(ご参考)			
34 与信関係費用総額(は費用)(5+14+17+28)	67	2,922	2,855

【2行合算】

前年同四半期は、旧東京三菱銀行(4～12月)・旧UFJ銀行(4～12月)・旧三菱信託銀行(4～9月)・旧UFJ信託銀行(4～9月)・三菱UFJ信託銀行(10～12月)の計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	当四半期 〔自 平成18年 4月 1日〕 〔至 平成18年12月31日〕	前年同四半期 〔自 平成17年 4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕	比較
1 業務粗利益	17,184	18,740	1,555
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(17,185)	(18,749)	(1,564)
3 資金利益	9,989	11,008	1,018
4 信託報酬	820	682	138
5 うち与信関係費用(信託勘定)	0	9	8
6 役務取引等利益	4,013	3,962	51
7 特定取引利益	1,046	192	1,239
8 その他業務利益	1,313	3,280	1,966
9 うち国債等債券関係損益	63	414	350
10 営業費	9,362	8,981	380
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	7,823	9,767	1,944
12 一般貸倒引当金繰入額(は繰入)	-	-	-
13 業務純益(11+5+12)	7,822	9,758	1,936
14 臨時損益(は費用)	1,189	914	275
15 与信関係費用	896	985	89
16 貸出金償却	732	934	201
17 個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
18 その他の与信関係費用	163	51	112
19 株式等関係損益	33	1,229	1,196
20 株式等売却益	429	1,583	1,154
21 株式等売却損	12	86	73
22 株式等償却	383	267	115
23 その他の臨時損益	326	1,158	831
24 経常利益	6,632	8,844	2,211
25 特別損益	2,461	5,569	3,107
26 うち貸倒引当金戻入	2,041	4,990	2,948
27 税引前四半期純利益	9,093	14,413	5,319
28 法人税、住民税及び事業税	135	124	10
29 法人税等調整額	2,261	3,836	1,575
30 四半期純利益	6,697	10,451	3,754

(ご参考)

31 与信関係費用総額(は費用)(5+12+15+26)	1,144	3,995	2,850
------------------------------	-------	-------	-------

【三菱東京UFJ銀行単体】

前年同四半期は、旧東京三菱銀行(4～12月)・旧UFJ銀行(4～12月)の計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	当四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	前年同四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕	比較
1 業務粗利益	13,879	15,520	1,641
2 資金利益	8,398	9,597	1,199
3 役務取引等利益	3,077	2,997	79
4 特定取引利益	917	137	1,055
5 その他業務利益	1,485	3,062	1,576
6 うち 国債等債券関係損益	173	261	88
7 営業費	7,864	7,375	489
8 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,014	8,144	2,130
9 一般貸倒引当金繰入額(は繰入)	-	-	-
10 業務純益(8+9)	6,014	8,144	2,130
11 臨時損益(は費用)	1,232	838	394
12 与信関係費用	991	706	285
13 貸出金償却	725	750	24
14 個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
15 その他の与信関係費用	265	43	309
16 株式等関係損益	26	973	947
17 株式等売却益	346	1,278	931
18 株式等売却損	6	69	62
19 株式等償却	313	234	78
20 その他の臨時損益	268	1,106	837
21 経常利益	4,781	7,306	2,524
22 特別損益	2,100	5,009	2,909
23 うち 貸倒引当金戻入	1,722	4,458	2,735
24 税引前四半期純利益	6,881	12,316	5,434
25 法人税、住民税及び事業税	132	153	21
26 法人税等調整額	1,805	2,970	1,164
27 四半期純利益	4,944	9,192	4,248

(ご参考)

28 与信関係費用総額(は費用)(9+12+23)	731	3,752	3,020
---------------------------	-----	-------	-------

【三菱UFJ信託銀行単体】

前年同四半期は、旧三菱信託銀行(4～9月)、旧UFJ信託銀行(4～9月)、三菱UFJ信託銀行(10～12月)の計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	当四半期 〔自 平成18年 4月 1日〕 〔至 平成18年12月31日〕	前年同四半期 〔自 平成17年 4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕	比較
1 業務粗利益	3,304	3,219	85
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(3,305)	(3,228)	(76)
3 資金利益	1,591	1,410	180
4 信託報酬	820	682	138
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	0	9	8
6 役務取引等利益	936	964	28
7 特定取引利益	129	54	184
8 その他業務利益	172	217	389
9 うち 国債等債券関係損益	109	152	261
10 営業費	1,497	1,605	108
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	1,808	1,622	185
12 一般貸倒引当金繰入額(は繰入)	-	-	-
13 業務純益(11+5+12)	1,807	1,613	194
14 臨時損益(は費用)	42	75	118
15 与信関係費用	94	279	374
16 貸出金償却	7	184	177
17 個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
18 その他の与信関係費用	102	95	197
19 株式等関係損益	6	256	249
20 株式等売却益	82	305	223
21 株式等売却損	5	17	11
22 株式等償却	69	32	37
23 その他の臨時損益	58	52	6
24 経常利益	1,850	1,537	312
25 特別損益	361	559	198
26 うち 貸倒引当金戻入	319	532	213
27 税引前四半期純利益	2,211	2,097	114
28 法人税、住民税及び事業税	3	28	31
29 法人税等調整額	455	866	411
30 四半期純利益	1,752	1,258	493

(ご参考)

31 与信関係費用総額(は費用)(5+12+15+26)	413	243	169
-------------------------------	-----	-----	-----

2. 金融再生法開示債権

【銀行勘定・信託勘定合計：2行合算】

平成17年12月末は、旧東京三菱銀行・旧UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行の計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,221	1,776	1,523
危険債権	4,552	11,412	7,494
要管理債権	6,199	9,055	9,241
開示債権合計(A)	11,974	22,244	18,259
総与信合計(B)	896,820	921,400	880,982
不良債権比率(A)/(B)	1.33%	2.41%	2.07%

【銀行勘定：三菱東京UFJ銀行単体】

平成17年12月末は、旧東京三菱銀行・旧UFJ銀行の計数を合算して記載しております。

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,113	1,479	1,289
危険債権	4,179	9,964	6,830
要管理債権	5,149	7,725	8,008
開示債権合計(A)	10,442	19,169	16,128
総与信合計(B)	793,744	806,403	772,646
不良債権比率(A)/(B)	1.31%	2.37%	2.08%

【銀行勘定：三菱UFJ信託銀行単体】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	106	295	232
危険債権	370	1,444	660
要管理債権	1,039	1,320	1,223
開示債権合計(A)	1,516	3,060	2,117
総与信合計(B)	101,335	112,877	106,442
不良債権比率(A)/(B)	1.49%	2.71%	1.98%

【信託勘定：三菱UFJ信託銀行】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2	1	1
危険債権	3	3	2
要管理債権	9	9	9
開示債権合計(A)	14	14	13
総与信合計(B)	1,740	2,119	1,894
不良債権比率(A)/(B)	0.84%	0.68%	0.71%

(注) 上記各四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しています。
集計方法については、重要性の低い一部の資産を除き、原則として、平成18年12月末基準及び平成17年12月末基準の自己査定結果を全て反映しております。

3. 自己資本比率(国際統一基準) 【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

(単位:億円)

	平成18年12月末 [概算値]	平成18年3月末 (参考)
(1)自己資本比率	12.17%	12.20%
Tier 比率	6.88%	6.80%
(2)Tier	79,111	75,016
(3)Tier	63,847	62,937
(イ)うち自己資本に計上されたその他有価証券含み益	14,124	13,431
(ロ)うち自己資本に計上された再評価差額	1,609	1,621
(ハ)うち劣後ローン(債券)残高	39,397	37,866
(4)Tier	-	-
(5)控除項目	3,103	3,349
(他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額等)		
(6)自己資本(2)+(3)+(4)-(5)	139,855	134,603
(7)リスクアセット	1,148,770	1,102,926

4. ROE 【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

(単位:%)

	平成19年3月期第3四半期	平成18年3月期 (参考)
当期純利益ベース(注)	15.92	16.58

(注) ROEは、以下の式により算出しております。

[平成19年3月期第3四半期]

$$\frac{(\text{四半期純利益} \times 4 \div 3) - \text{非転換型優先株式年間配当相当額}}{\text{期首連結株主資本合計} - \text{期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期首為替換算調整勘定}}$$

× 100

$$+ \frac{(\text{第3四半期末連結株主資本合計} - \text{第3四半期末発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{第3四半期末為替換算調整勘定})}{2}$$

[平成18年3月期]

$$\frac{\text{当期純利益} - \text{非転換型優先株式配当}}{\text{期首連結資本の部合計} - \text{期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} - \text{期首土地再評価差額金} - \text{期首その他有価証券評価差額金}}$$

× 100

$$+ \frac{(\text{期末連結資本の部合計} - \text{期末発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} - \text{期末土地再評価差額金} - \text{期末その他有価証券評価差額金})}{2}$$

5. 有価証券の評価損益

時価のある有価証券について記載しております。

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。

「差額」及び「評価差額」は、四半期末(期末)の時価に基づいております。

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期連結貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	32,992	34	64	99

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	433,753	31,167	34,849	3,682
株式	74,730	30,099	31,269	1,169
債券	229,224	1,110	88	1,199
その他	129,798	2,178	3,491	1,313

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期連結貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	25,603	97	122	24

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	458,887	26,539	28,353	1,813
株式	69,239	24,980	25,054	73
債券	269,557	384	233	618
その他	120,090	1,943	3,065	1,121

(参考)

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	連結貸借対照表 計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	28,086	145	36	182

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	連結貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	426,638	29,532	33,397	3,864
株式	74,661	29,808	29,961	152
債券	254,116	2,101	72	2,174
その他	97,859	1,825	3,363	1,537

【三菱東京UFJ銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。

「差額」及び「評価差額」は、四半期末日(期末日)の時価に基づいております。

平成17年12月末は、旧東京三菱銀行の計数を記載しております。

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	23,594	72	0	72

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	5,015	6,283	6,313	29

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	356,248	21,684	24,781	3,096
株式	59,256	20,521	21,650	1,128
債券	200,974	1,060	52	1,113
その他	96,017	2,223	3,077	854

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	23,137	56	63	7

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	1,962	5,511	5,511	-

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	239,163	16,981	18,168	1,186
株式	34,339	16,208	16,347	139
債券	146,628	385	85	470
その他	58,195	1,158	1,734	576

(参考)

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	貸借対照表 計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	23,693	131	0	131

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	貸借対照表 計上額	差額	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	5,040	12,804	12,804	-

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	355,421	19,881	23,033	3,151
株式	58,794	20,015	20,261	245
債券	228,539	1,827	41	1,869
その他	68,086	1,693	2,730	1,036

【三菱UFJ信託銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。
「差額」及び「評価差額」は、四半期末日(期末日)の時価に基づいております。

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	8,127	52	52	0

(単位:億円)

	平成18年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	59,213	6,121	6,502	381
株式	14,523	5,930	6,160	229
債券	24,160	9	37	46
その他	20,528	200	305	105

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	1,184	37	37	-

(単位:億円)

	平成17年12月末			
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	52,884	5,799	6,051	252
株式	14,066	5,379	5,442	63
債券	21,244	38	88	126
その他	17,573	458	520	61

(参考)

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	貸借対照表 計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的債券	3,142	3	19	16

(単位:億円)

	平成18年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	52,954	6,350	6,792	441
株式	14,838	6,151	6,195	43
債券	20,915	227	39	266
その他	17,200	426	557	130

6. デリバティブ取引に係る繰延損益の状況【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

(単位:億円)

種 類	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月末)		
	繰延利益 (A)	繰延損失 (B)	ネット繰延損益 (A)-(B)
金利先物	54	94	40
金利スワップ	2,272	3,468	1,196
通貨スワップ等	2,222	2,167	54
その他(金利関連)	-	3	3
その他(金利関連以外)	-	-	-
合 計	4,548	5,734	1,186

(注) ヘッジ会計適用分デリバティブ取引(「金融商品に関する会計基準」に基づく金利スワップの特例処理により、発生主義で損益認識している取引を除く。)に係る繰延利益・繰延損失のほか、従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延利益及び繰延損失の当第3四半期連結会計期間末における残高(税効果額控除前)について記載しております。

(単位:億円)

種 類	前第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月末)		
	繰延利益 (A)	繰延損失 (B)	ネット繰延損益 (A)-(B)
金利先物	57	94	37
金利スワップ	2,309	2,558	249
通貨スワップ等	491	525	33
その他(金利関連)	10	9	1
その他(金利関連以外)	10	28	18
合 計	2,878	3,216	337

(注) ヘッジ会計適用分デリバティブ取引(「金融商品に係る会計基準」に基づく金利スワップの特例処理により、発生主義で損益認識している取引を除く。)に係る繰延利益・繰延損失のほか、従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延利益及び繰延損失の前第3四半期連結会計期間末における残高について記載しております。

(参考)

(単位:億円)

種 類	前連結会計年度末 (平成18年3月末)		
	繰延利益 (A)	繰延損失 (B)	ネット繰延損益 (A)-(B)
金利先物	50	121	70
金利スワップ	2,241	4,357	2,115
通貨スワップ等	467	433	33
その他(金利関連)	2	5	2
その他(金利関連以外)	58	6	52
合 計	2,820	4,924	2,103

(注) ヘッジ会計適用分デリバティブ取引(「金融商品に係る会計基準」に基づく金利スワップの特例処理により、発生主義で損益認識している取引を除く。)に係る繰延利益・繰延損失のほか、従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延利益及び繰延損失の前連結会計年度末における残高について記載しております。

7.～10.の2行合算の平成17年12月末は旧東京三菱銀行・旧UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行の計数を合算して記載しております。

7. 預金・貸出金の残高 [2行合算]

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
預金 (未残)	1,098,854	1,123,675	1,129,818
(平残)	1,101,244	1,126,355	1,123,526
貸出金 (未残)	806,395	815,412	799,785
(平残)	799,231	803,887	803,823

(注) 平成17年12月末及び平成18年3月末の平残は、旧UFJ銀行・旧UFJ信託銀行の計数を含めて算出しております。

8. 個人・法人別預金残高(国内店舗) [2行合算]

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
個人預金	611,120	612,504	602,178
法人預金その他	382,756	405,484	427,194
合計	993,876	1,017,988	1,029,372

(注) 譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は含んでおりません。

9. 消費者ローン残高

【銀行勘定・2行合算】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
消費者ローン残高	184,507	199,189	194,381
うち住宅ローン残高	172,680	185,609	181,457
うちその他ローン残高	11,827	13,579	12,924

【信託勘定:三菱UFJ信託銀行】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
消費者ローン残高	941	1,023	1,005
うち住宅ローン残高	928	1,007	989
うちその他ローン残高	12	16	15

10. 中小企業等貸出

【銀行勘定・2行合算】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
中小企業等貸出残高	442,436	447,655	446,529
中小企業等貸出比率	62.61%	60.81%	62.56%

(注) 当社に対する貸出金は「大企業」向けとして取り扱っております。但し、平成17年12月末「中小企業等貸出残高」には旧UFJ銀行による当社向け貸出金を含んでおり、その金額は2,769億円であります。

【信託勘定:三菱UFJ信託銀行】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成17年12月末	平成18年3月末 (参考)
中小企業等貸出残高	2,726	2,788	2,807
中小企業等貸出比率	82.03%	74.44%	80.21%

11. 繰延税金資産の状況

繰延税金資産の発生要因別残高【2行合算】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成18年3月末比
	繰延税金資産合計	18,326
貸倒引当金	4,720	1,239
有価証券有税償却	3,803	435
繰越欠損金	11,205	1,995
退職給付引当金	998	171
その他	4,808	865
評価性引当額()	7,208	1,032
繰延税金負債合計	14,814	471
退職給付信託設定益	486	14
その他有価証券評価差額金	11,353	631
その他	2,974	174
繰延税金資産の純額	3,512	2,415

Tier1に占める割合【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

(単位:億円)

	平成18年12月末	平成18年3月末比
	繰延税金資産の純額	3,116
Tier1に占める割合(%)	3.9%	4.3%